

別記様式第1号（第5条関係）

### 総合計画審議会 会議経過要旨

会議名	第5回木津川市総合計画審議会				
日時	平成30年8月31日（金） 午後3時～午後5時	場所	市役所 第2北別館		
出席者	委員 ■：出席 □：欠席	(公募委員) <input checked="" type="checkbox"/> 尾崎 忠教委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 西村 正子委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 森田 雄巳委員 (識見委員) <input type="checkbox"/> 今里佳奈子委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 真山 達志委員 (委員) <input type="checkbox"/> 今西 勝美委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 中嶋 鉄也委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 久保 恭子委員、 <input type="checkbox"/> 小松 信夫委員、 <input type="checkbox"/> 中川 雅永委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 西井 貴信委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 福井さなえ委員、 <input type="checkbox"/> 福井 康裕委員、 <input checked="" type="checkbox"/> 松本 耕考委員、 <input type="checkbox"/> 岩田 高明委員			
		その他出席者 株式会社地域未来研究所 田渕 誠一、貞松純子			
		庶務（事務局） 福島政策監、武田マチオモイ部長、奥田学研企画課長、茅早主幹、藤木主任			
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 報告事項 <input type="checkbox"/> これまでの審議会結果 <input type="checkbox"/> 地域ワークショップ結果 (2) 審議事項 <input type="checkbox"/> 第2次木津川市総合計画 基本構想（案） <input type="checkbox"/> 第2次木津川市総合計画 基本計画（骨子案） (3) その他 次回審議会開催日程について 3. 閉会				
会議結果要旨	1. 開会 事務局から開会を宣言した。  2. 議事 (1) 報告事項 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの審議会結果 資料1に基づき、事務局からこれまでの審議会の議事の流れと前回審議会の結果について説明があり、確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域ワークショップ結果 資料2に基づき、事務局から地域ワークショップの結果について説明				

	<p>があり、確認した。</p> <p><b>(2) 審議事項</b></p> <p><b>①第2次木津川市総合計画 基本構想（案）</b></p> <p>資料3に基づき、第2次木津川市総合計画 基本構想（案）について説明があり、案のとおり決定した。</p> <p><b>②第2次木津川市総合計画 基本計画（骨子案）</b></p> <p>資料4に基づき、第2次木津川市総合計画 基本計画（骨子案）について説明があり、案のとおり決定した。</p> <p><b>(3) その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回審議会開催日程について</li> </ul> <p>第6回審議会は、平成30年10月上旬に開催の予定。日程が決まり次第連絡することとした。</p> <p><b>3. 閉会</b></p>
<b>会議経過要旨</b> ◎会長 ○委員 ●事務局	<p><b>1. 開会</b></p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p><b>2. 議事</b></p> <p><b>(1) 報告事項</b></p> <p><b>①これまでの審議会結果</b></p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p><b>②地域ワークショップ結果</b></p> <p>会議結果要旨のとおり。 なお、主な意見・質疑は次のとおり。</p> <p>○ワークショップを開催された当尾地域は、木津川市の観光地であり、観光分野で地元と問題を共有してきた。観光客に人気がある石仏をめぐる道は、ボランティアで草刈りなど実施してきたが、災害でがけ崩れの危険があるような箇所もあり、観光客に案内するにも問題がある。 また、地域の特産物を販売している吊り店は、店主の高齢化等で維持が難しくなりつつあり、複数の店をまとめて、合同で店を出すような工夫が必要と感じている。しかし、住民だけではそういった協働も進まないので、行政が主導して対応していくことが必要ではないか。</p> <p>○具体的提案をいただいたので、本日の議題でもある基本計画の議論の中で検討したい。</p>

**(2) 審議事項**

**①第2次木津川市総合計画 基本構想（案）**

会議結果要旨のとおり。

**②第2次木津川市総合計画 基本計画（骨子案）**

会議結果要旨のとおり。

なお、主な意見・質疑は次のとおり。

○前回も恭仁宮について指摘したが、「恭仁京」に親しみがあり「恭仁宮」という名称は、なじみにくいのではないか。「京」は都全体であり「宮」は政治をする政所であるので、「京」があるから「宮」がある。恭仁宮については、京の範囲が特定されているのか。

●「京」と「宮」の定義については、ご指摘の通りである。ここでは、文部科学省で指定されている「恭仁宮跡」として記載している。

○使用上問題がないようであれば、一般名称である「恭仁京」でもいいのかもしれないが、総合計画は公式文章であるので、再度、確認をお願いする。

○政策15の「施策③循環型社会」に記載されている、市廃棄物減量等推進員の会は、エコリーダー「くるっと」という名称を使用しているため、確認をお願いする。

○児童福祉法に基づく保育所と保育園が混在しているので、文言を統一した方がいいのではないか。

また、基本計画の各施策に示されている関連計画は、本計画策定後に元号が変わるので、西暦と元号が混在しているものは、西暦に統一した方がいいのではないか。

関連計画には、府の計画も含まれるので、市の計画には、木津川市という言葉を付け、正式な計画名称とした方がいいのではないか。

●法的には保育所であるが、既存施設や民営化を進める視点では、保育園を使用している。担当課に確認の上、整理したい。

平成32年度以降は西暦標記に修正する。

また、関連計画名は、正式名称に修正する。

○政策8の「施策①観光振興」の成果指標に設定している「観光ボランティアガイドの登録者数」は、高齢化等で増加する見込みがない。

同様に指標に上がっている「まちかど観光案内所」は、案内する人が留守で案内ができない現状である。

また、まちかど観光案内所の利用者が少ないなど、有効性に欠けるため、

観光協会でも整理しようとしているところである。利用の現状を調べてから対応すべきである。

政策15の「施策②環境美化」の成果指標にある「アダプトプログラム」については、メリットが不明であり「ふるさと案内・かも」では登録をやめた経緯がある。

●観光ボランティアガイドの登録者数は、第1次総合計画からの継続指標であるが、今後の指標として適切かどうか再考したい。同様に、まちかど案内所についても、再考したい。

アダプトプログラムについては、平成25年度は1,945人の登録者があった。その後、新たに公園・緑地における地域の自主的管理活動に応じて補助金を払う仕組みである市民自主管理制度を創設した。

アダプトプログラムは金銭的補助がないが、市としても積極的にPRし、登録の増加に取り組みたい。

◎成果指標にあげているということは、重要な施策という意思表明もある。しかし、達成が難しい成果指標は適切性に欠けるので、再考できるものはお願いする。

○成人のつどいについて、成人年齢が18歳に引き下げられるが、どのような形で開催される予定か。

●市では、20歳になられた方が、自分たちで成人のつどいを企画・運営する形としており、市としては継続していきたいと考えているが、今後の方針について、担当課と確認を行う。

○政策1の「施策②母子保健・母子福祉」に関して、「母としての自覚を持ち」と記載されているが、妊娠・出産・子育ては母親だけのことではないため、父母の方がいいのではないか。

また、ひとり親家庭の生活を支援するとは、具体的にはどのように支援するのか。

成果指標の「妊婦健診・マタニティ広場等の延べ利用者数」は、延べ利用者数ではなく、母子健康手帳交付数を分母とする利用率の方がいいのではないか。マタニティ広場は平日開催が多く、働く母親は利用しにくいので、延べ利用者数では、どの程度の利用があるか、適切に把握できないのではないか。

●妊娠・出産は、母親しかできないことから、「母子保健・母子福祉」としている。

子育て全般の面で、父母が育てるという記載を検討したい。

ひとり親家庭の支援については、専門の支援員が各家庭に応じてアドバイスをする相談体制を構築しており、ひとり親家庭の問題を解決するサ

ービスを案内したいという主旨である。

成果指標について、マタニティ広場は、他市町からも参加があるため、対象者とする分母が算出しにくい。担当課に確認し、検討する。

○基本構想は第1次計画を踏襲しているように感じる。まちの将来像については、もう少し今後10年間の未来が読み取れるような未来志向の表現の方がいいのではないか。

政策4の「施策②高齢者福祉」に、認知症対策の総合的な推進が記載されているが、認知症カフェは市内に3か所しかない。認知症の方は、地元にある認知症カフェに参加しにくい傾向があるので、場所は多い方がいいだろう。施策の中に、具体的な記述が必要ではないか。

また、「施策③障がい者福祉」に関連して、障がい者の就労を受け入れる企業を募集する窓口が必要だと思う。現在、木津川市にはあるのか。

●基本構想及びまちの将来像は、今後10年間のキーワードであり、子育てを前面に打ち出しており、第1次総合計画を踏襲したものではないと認識している。

高齢者福祉については、認知症カフェやサポーター等も含んで記載している。

また、障がいの方方が一般就労に移行することに力を入れている。担当課に確認して、盛り込んでいきたい。

○政策4の「施策①地域福祉」に、近所付き合いのすすめとあるがどのようなものか。

●第2次木津川市地域福祉計画・木津川市地域福祉活動計画に記載されているものである。自助・共助・公助を考えると、近所付き合いが重要であると認識している。介護、子育て、防災も含めて、推進していきたいと考えているが、具体的な内容は担当課に確認する。

○政策4の「施策①地域福祉」の成果指標に、ボランティア登録者数があるが、どういったボランティアであるのか。

●社会福祉協議会にボランティア登録されている方であるので、わかるように文言の修正を行う。

○政策7の「施策①市民参加・参画」の成果指標であるマチオモイな仲間たちは、数値化できるのか。

●マチオモイな仲間たちは、総合戦略で位置づけられた、具体的なまちづくり活動をされているリーダーのことである。わかりやすいように、注釈を付けることにしたい。

	<p>◎観光施策はボランティアの方に依存することが多いが、ボランティアだけではどうにもならないことも多い。観光客の印象を左右するのは、一般市民の印象である部分も多いので、市民の観光に対する理解を深めることも付け加えてはどうか。</p> <p>また、政策の名称は、政策分野のみが示されており、収まりが悪い。動詞がついてこそ政策である。</p> <p>●政策の名称について、整理する。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回審議会開催日程について 会議結果要旨のとおり。</li> </ul> <p>3. 閉会</p>
その他の 特記事項	